

# 令和4年度 第1回 教育課程編成委員会

令和4年7月25日(月) 10:00~12:00  
国際園芸アカデミー 研修室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 委員紹介

## 4 議題

(1) 新カリキュラムについて …資料1

(2) 令和3年度後期授業について …資料2  
・開講科目及び講義実績

・分野別授業内容の説明 …資料3

〔	花き生産流通分野	「卒業研究・卒業制作Ⅱ」
	花き装飾分野	「フラワーデザイン実習Ⅱ」
	造園緑化分野	「造園施工・管理実習Ⅱ」
	マネジメント分野	「基礎会計」

・授業評価アンケート結果 …資料4

(3) 教育環境整備について …資料5

(4) 業界の動向及び求める人材について …資料6

## 5 授業見学

1 学年 「園芸装飾実習Ⅰ」

2 学年 「造園施工・管理実習Ⅲ」

## 6 閉 会

令和4年度 第1回 国際園芸アカデミー 教育課程編成委員会 出席者名簿

	分野	所属・役職	氏名	備考
委員長		岐阜県立国際園芸アカデミー 学長	今西 良共	
委員	学識経験者	岐阜大学応用生物科学部 教授	山田 邦夫	
委員	花き生産業界(切花)	ユーティローズ 代表者	宇野 充辰	(欠席)
委員	花き生産業界(鉢花)	小関園芸 代表者	小関 正司	(欠席)
委員	花き装飾業界	ユリフラワーデザインスクール 副総長	内山 友樹	(欠席)
委員	造園緑化業界	(株)庭萬 代表取締役社長	稲垣 和美	Zoom参加
委員	流通業界	名古屋園芸株式会社 代表取締役	小笠原 誓	Zoom参加
委員	行政機関	農産園芸課長	大橋 薫子	Zoom参加
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	臼田 浩通	
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	相田 明	

事務局	役職	氏名
	岐阜県立国際園芸アカデミー 副学長	小野寺 誓
	岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <花き生産コース>	井上 守
	岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <花き生産コース>	前田 宝秀
	岐阜県立国際園芸アカデミー 講師 <花き装飾コース>	林 誠
	岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <マネージメント>	佐藤 智茂
	岐阜県立国際園芸アカデミー 教務課長	工藤 岳彦
	岐阜県立国際園芸アカデミー 教務係長	伊藤 美由紀

## 岐阜県立国際園芸アカデミー教育課程編成委員会規程

### (目的)

第1条 この規程は、岐阜県立国際園芸アカデミー学則（以下「学則」という。）第13条の規定に基づき、企業・業界団体等との連携により実践的な教育の質の保証・向上を目指すため国際園芸アカデミー（以下、「本学」という。）教育課程編成委員会（以下、「委員会」という。）を設置し、その組織及び運営に関して、学則第13条第2項に基づき必要な事項を定める。

### (職務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項に関する専門的な検討を行い、本学の教育課程の編成等についての意見を学長へ提言する。

- (1) 学生の就職先の業界における人材の専門性に関する動向
- (2) 地域の産業振興の方向性
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など
- (4) その他、教育課程の編成に関連する事項

### (組織)

第3条 委員会は、本学教職員及び学術機関の有識者や関係企業に属する役職員、地方公共団体の職員等で組織する。

2 委員は、学長が委嘱する。

### (委員の承諾)

第4条 学術機関の有識者や関連企業に属する役職員から成る委員の就任については、本人の承諾（様式1）を要するものとする。

### (任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長等)

第6条 委員長は学長をもって充てる。

2 委員長は、議事その他の会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又はかけたときはあらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

### (議長)

第7条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

### (会議の開催)

第8条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 委員会は、年2回以上開催するものとする。

### (委員以外の者の出席)

第9条 委員長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

(報償)

第10条 委員の出席にあたり、報償費及び旅費を支給する。ただし、金額については別に定めるところにより支給する。

2 報償費及び旅費のどちらか、又は両方を辞退する場合は、希望する費用のみ支給する。

(庶務)

第11条 委員会の庶務は、教務課において処理する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成28年2月2日から施行する。

2 この規程の施行の日以後、最初に委嘱される委員の任期は、第5条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年3月14日から施行する。



令和4年度 国際園芸アカデミー 教育課程編成委員会 名簿

	分野	所属・役職	氏名
委員長		岐阜県立国際園芸アカデミー 学長	今西 良共
委員	学識経験者	岐阜大学応用生物科学部 教授	山田 邦夫
委員	花き生産業界(切花)	ユーティローズ 代表者	宇野 充辰
委員	花き生産業界(鉢花)	小関園芸 代表者	小関 正司
委員	花き装飾業界	ユリフラワーデザインスクール 副総長	内山 友樹
委員	造園緑化業界	(株)庭萬 代表取締役社長	稲垣 和美
委員	流通業界	名古屋園芸株式会社 代表取締役	小笠原 誓
委員	行政機関	農産園芸課長	大橋 薫子
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	臼田 浩通
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	相田 明

## 国際園芸アカデミー新カリキュラム（令和4年度入学生から対象）について

## 1 卒業研究・卒業制作 I 及び II の見直し

## (1) 卒業研究・卒業制作 I（必修・60 時数・2 年前期）をなくし、専攻コースによる選択制へ変更

- ・ 3 つの専攻コースにおいて実践的な科目を選択する方式へ変更

<花き生産>：現地調査、視察などによる課題解決に特化

「生産課題解決演習 II」（60 時数）

<花き装飾>：フューネラル、ウェディングに特化

「フューネラル実習」（30 時数）、「ウェディング実習」（30 時数）

<造園緑化>：作庭プロジェクトに特化

「造園総合実習」（90 時数）

## (2) 卒業研究・卒業制作 II（必修・270 時数・2 年後期）の授業時数の縮小

- ・ 270 時数から 240 時数に縮小し、「卒業研究・卒業制作」に変更

## 2 選択科目から必修科目へ変更 〈国際園芸アカデミー有識者会議提言〉

- ・ 経営手法を習得するため、会社設立を想定した起業・経営論を学ぶ「起業・経営シミュレーション」（30 時数）を選択から必修科目に変更し、2 年前期から 1 年後期実施に変更

## 3 マーケティング分野の科目を体系化 〈国際園芸アカデミー有識者会議提言〉

- ・ 商品プロデュース力を強化するためマーケティング分野の科目を体系化

「商品動向リサーチ I」（15 時数・1 年前期）－「商品動向リサーチ II」（15 時数・1 年後期）

－「新商品開発演習」（30 時数・1 年後期）－「SNS プロモーション」（30 時数・2 年前期）

## 4 学ぶ意識が高い学生のための選択科目を新設

- ・ 学生のニーズや情勢の変化等にきめ細かに対応するための選択科目を新設

「2 級・3 級園芸装飾技能検定対策実習」（各 30 時数・2 年前期・1 年前期）

「商品開発演習」（30 時数・1 年後期）

「装飾技術スキルアップ実習」（45 時数・2 年前期）

「植物ビジネス論」（15 時数・2 年後期）

「スマート農業研修」（15 時数・2 年後期）

「フラワービジネス演習」（15 時数・2 年後期）

「造園積算・施工管理演習」（15 時数・2 年後期）

## 5 科目数と時数、座学と実習・演習時数の比較

- ・ 必修科目時数を 135 時数縮小、選択科目を 13 科目・405 時数増加し、きめ細かに対応

区分	新カリキュラム		旧カリキュラム		比較	
	科目数	時数	科目数	時数	科目数	時数
必修	25	1,335	25	1,470	0	△135
選択	39	1,545	26	1,140	13	405
計	64	2,880	51	2,610	13	270

- ・ 新カリキュラムの「座学」と「実習・演習」時数は、420 時数：2,460 時数の 1：6



令和4年度入学生対象開講科目

開催時期	必・選	授業形態	分野	科目名	時間	区分	合計	備考
1年前期	必修	講義	1 花き生産流通分野	栽培・生産論	30	A基礎	630	
1年前期	必修	講義	1 花き生産流通分野	植物生理学	30	A基礎		
1年前期	必修	実習	1 花き生産流通分野	花き生産実習	90	A基礎		
1年前期	必修	講義	1 花き生産流通分野	園芸流通概論	30	A基礎		
1年前期	必修	実習	2 花き装飾分野	園芸装飾実習Ⅰ	30	A基礎		
1年前期	必修	実習	2 花き装飾分野	フラワーデザイン実習Ⅰ	60	A基礎		
1年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	3級園芸装飾技能検定対策実習	30	A基礎		新
1年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	3級フラワー技能検定対策実習	60	A基礎		
1年前期	必修	実習	3 造園緑化分野	造園施工・管理実習Ⅰ	60	A基礎		
1年前期	必修	講義	3 造園緑化分野	造園学概論	30	A基礎		
1年前期	必修	実習	3 造園緑化分野	花修景実習Ⅰ	30	A基礎		
1年前期	選択	実習	3 造園緑化分野	3級造園技能検定対策実習	45	A基礎		組
1年前期	必修	実習	4 マーケティング分野	商品動向リサーチⅠ	15	A基礎		組
1年前期	必修	実習	6 植物管理分野	植物管理基礎実習Ⅰ	60	A基礎		
1年前期	必修	講義	7 国際性分野	Global Communication in Horti	30	A基礎		
1年後期	必修	実習	1 花き生産流通分野	イベント販売実習	15	A基礎		組
1年後期	選択	実習	1 花き生産流通分野	生産マネージメント実習Ⅰ	60	B専門	組	
1年後期	選択	演習	1 花き生産流通分野	生産課題解決演習Ⅰ	45	B専門	組	
1年後期	選択	実習	2 花き装飾分野	園芸装飾実習Ⅱ	30	B専門		
1年後期	選択	実習	2 花き装飾分野	フラワーデザイン実習Ⅱ	60	B専門		
1年後期	必修	実習	3 造園緑化分野	花修景実習Ⅱ	30	B専門		
1年後期	選択	実習	3 造園緑化分野	造園施工・管理実習Ⅱ	60	B専門		
1年後期	選択	実習	3 造園緑化分野	測量実習	30	B専門	組	
1年後期	選択	実習	3 造園緑化分野	製図実習	30	B専門	組	
1年後期	選択	実習	3 造園緑化分野	CAD製図実習	30	B専門		
1年後期	必修	実習	4 マーケティング分野	商品動向リサーチⅡ	15	A基礎	750 組	
1年後期	選択	演習	4 マーケティング分野	商品開発演習	30	B専門	新	
1年後期	必修	講義	5 マネージメント分野	キャリアデザインⅠ	30	A基礎		
1年後期	必修	講義	5 マネージメント分野	起業・経営シミュレーション	30	B専門		
1年後期	必修	実習	6 植物管理分野	植物管理基礎実習Ⅱ	30	A基礎		
1年後期	必修	講義	7 国際性分野	Global Communication in Horti	30	A基礎		
1年後期	必修	実習	8 就業体験分野	インターンシップⅠ	120	D研究		
1年後期	選択	講義	9 文化・利用分野	園芸色彩学	30	B専門		
1年後期	選択	実習	9 文化・利用分野	いけばな	15	B専門	組	
1年後期	選択	実習	9 文化・利用分野	園芸福祉論・実習	30	B専門		
2年前期	選択	実習	1 花き生産流通分野	生産マネージメント実習Ⅱ	120	C応用	組	
2年前期	選択	演習	1 花き生産流通分野	生産課題解決演習Ⅱ	60	C応用	組	
2年前期	選択	講義	1 花き生産流通分野	基礎育種学	30	B専門		
2年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	装飾技術スキルアップ実習	45	B専門	新	
2年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	フェーラル実習	30	B専門	組	
2年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	ウェディング実習	30	B専門	組	
2年前期	選択	演習	2 花き装飾分野	フラワー装飾演習	60	C応用	組	
2年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	2級フラワー技能検定対策実習	60	B専門	組	
2年前期	選択	実習	2 花き装飾分野	2級園芸装飾技能検定対策実習	30	B専門	新	
2年前期	選択	実習	3 造園緑化分野	花修景実習Ⅲ	30	C応用		
2年前期	選択	実習	3 造園緑化分野	2級造園技能検定対策実習	45	B専門	1035 組	
2年前期	選択	実習	3 造園緑化分野	造園施工・管理実習Ⅲ	60	B専門		
2年前期	選択	実習	3 造園緑化分野	造園総合実習	90	C応用	組	
2年前期	選択	講義	3 造園緑化分野	造園工学・施工論	30	B専門		
2年前期	選択	演習	4 マーケティング分野	SNSプロモーション	30	C応用		
2年前期	選択	講義	5 マネージメント分野	基本簿記	30	B専門	組	
2年前期	必修	講義	5 マネージメント分野	キャリアデザインⅡ	30	B専門		
2年前期	必修	実習	6 植物管理分野	植物管理基礎実習Ⅲ	30	B専門		
2年前期	必修	実習	7 国際性分野	海外視察研修	90	D研究		
2年前期	選択	実習	8 就業体験分野	インターンシップⅡ	60	D研究		
2年前期	選択	実習	9 文化・利用分野	盆栽実習	15	B専門	組	
2年前期	選択	実習	9 文化・利用分野	園芸文化研修	30	C応用		
2年後期	選択	演習	1 花き生産流通分野	スマート農業研修	15	C応用	新	
2年後期	選択	講義	5 マネージメント分野	植物ビジネス論	15	C応用	新	
2年後期	選択	演習	2 花き装飾分野	フラワービジネス演習	15	C応用	新	
2年後期	選択	演習	3 造園緑化分野	造園積算・施工管理演習	15	C応用	465 新	
2年後期	選択	講義	3 造園緑化分野	公園・緑化概論	15	C応用	組	
2年後期	必修	実習	8 就業体験分野	インターンシップⅢ	150	D研究		
2年後期	必修	演習	10 課題解決分野	卒業研究・卒業制作	240	D研究	組	



# カリキュラム見直し後編成図

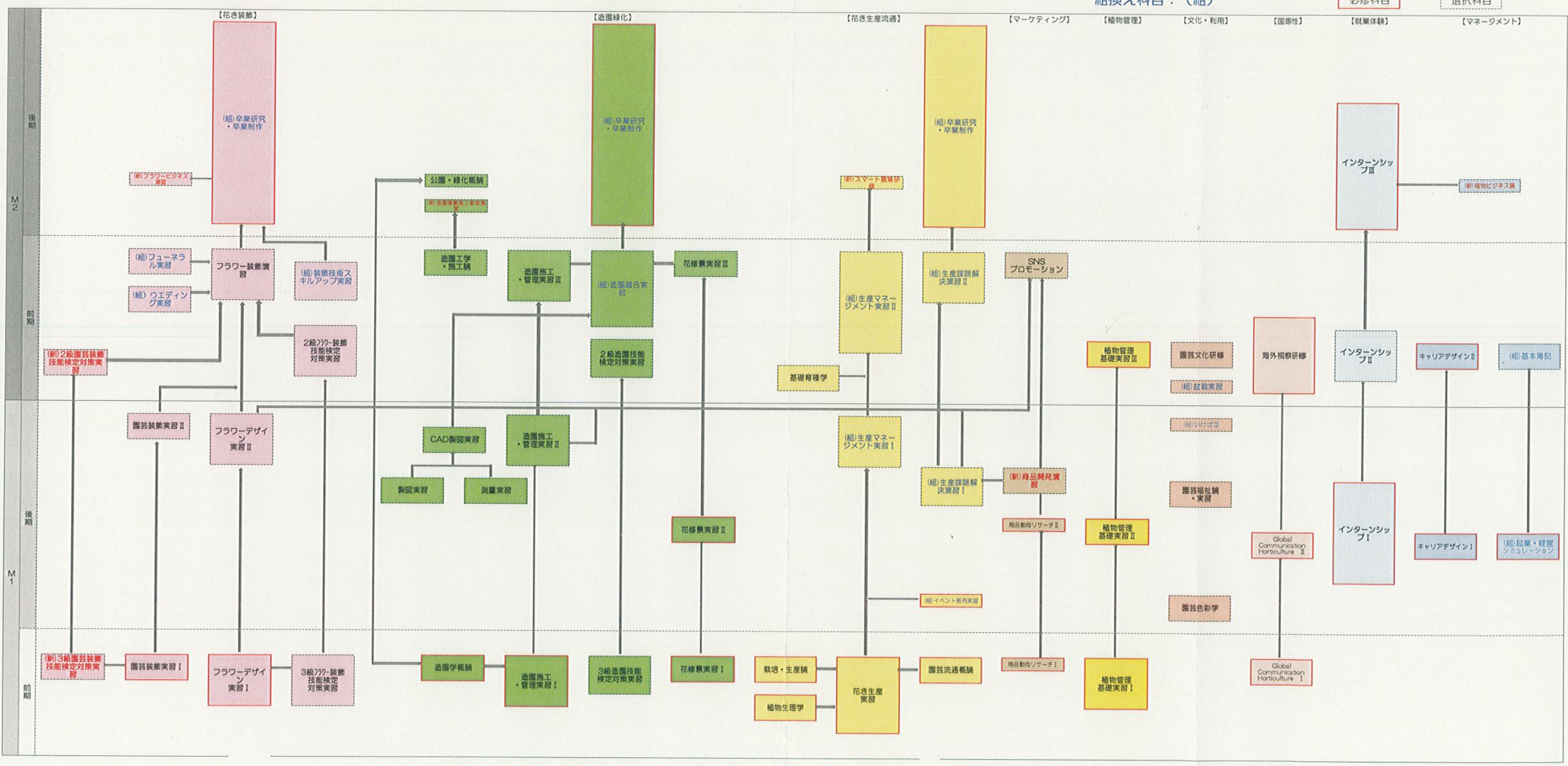
花き装飾コース カリキュラム編成図 (標準)

造園緑化コース カリキュラム編成図 (標準)

花き生産コース カリキュラム編成図 (標準)

新規科目: (新) 赤字  
組換え科目: (組)

必修科目 選択科目





## ○マイスター科 1年(前期) 開講科目

No.	分野	区分	科 目 名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	必修	栽培・生産論	白田	30
2	花き生産流通	必修	植物生理学	前田	30
3	花き生産流通	必修	花き生産流通実習 I	白田	90
4	花き生産流通	必修	園芸流通概論	井上	30
5	花き装飾	必修	園芸装飾実習 I	吉田	30
6	花き装飾	必修	フラワーデザイン実習 I	林	60
7	花き装飾	選択	3級フラワー装飾技能検定対策実習	安保	60
8	造園緑化	必修	花修景実習 I	相田	30
9	造園緑化	必修	造園学概論	相田	30
10	造園緑化	必修	造園施工・管理実習 I	新井	60
11	造園緑化	選択	3級造園技能検定対策実習	新井	30
12	植物管理	必修	植物管理基礎実習 I	前田	60
13	国際性	必修	Global Communication in Horticulture I	大脇	30

必修	480
選択	90

## ○マイスター科 1年(後期) 開講科目

No.	分野	区分	科 目 名	担当教員	時間数
14	花き生産流通	必修	花き生産流通実習 II	白田	60
15	花き生産流通	選択	生産プロジェクト実習 I	白田	90
16	花き装飾	選択	園芸装飾実習 II	吉田	30
17	花き装飾	選択	フラワーデザイン実習 II	林	60
18	造園緑化	必修	花修景実習 II	相田	30
19	造園緑化	選択	造園施工・管理実習 II	新井	60
20	造園緑化	選択	測量・製図実習	相田	30
21	造園緑化	選択	CAD製図実習	相田	30
22	マーケティング	必修	商品動向リサーチ I	井上	30
23	マネージメント	必修	キャリアデザイン I	佐藤	30
24	マネージメント	選択	基礎会計	佐藤	30
25	文化・利用	選択	伝統園芸実習	片倉・福本	30
26	文化・利用	選択	園芸福祉論・実習	相田	30
27	文化・利用	選択	園芸色彩学	井上	30
28	植物管理	必修	植物管理基礎実習 II	前田	30
29	国際性	必修	Global Communication in Horticulture II	大脇	30
30	就業体験	必修	インターンシップ I	各コース担当教員	120

必修	330
選択	420

2021年度（令和3年度）

○マイスター科 2年（前期）開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	選択	生産プロジェクト実習Ⅱ	白田	90
2	花き生産流通	選択	基礎育種学	前田	30
3	花き装飾	選択	フラワーデザイン実習Ⅲ	林	60
4	花き装飾	選択	2級フラワー装飾技能検定対策実習	吉田	90
5	造園緑化	選択	花修景実習Ⅲ	相田	30
6	造園緑化	選択	造園施工・管理実習Ⅲ	新井	60
7	造園緑化	選択	造園計画演習	相田	30
8	造園緑化	選択	2級造園技能検定対策実習	新井	30
9	マーケティング	必修	商品動向リサーチⅡ	井上	30
10	マネージメント	必修	キャリアデザインⅡ	佐藤	30
11	マネージメント	選択	起業・経営シミュレーション	佐藤	30
12	文化・利用	選択	園芸文化研修	今西	30
13	植物管理	必修	植物管理基礎実習Ⅲ	前田	30
14	国際性	必修	海外視察研修	白田	90
15	就業体験	選択	職場体験実習Ⅱ	各コース担当教員	60
16			卒業研究・卒業制作Ⅰ（花き生産コース）	白田	
17	課題解決	必修	卒業研究・卒業制作Ⅰ（花き装飾コース）	林	60
18			卒業研究・卒業制作Ⅰ（造園緑化コース）	相田	

必修	240
選択	540

○マイスター科 2年（後期）開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
19	造園緑化	選択	造園工学・施工論	新井	30
20	造園緑化	選択	公園・緑化概論	今西	30
21	マーケティング	選択	SNSプロモーション	井上	30
22	就業体験	必修	職場体験実習Ⅲ	各コース担当教員	150
23			卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き生産コース）	白田	
24	課題解決	必修	卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き装飾コース）	吉田	270
25			卒業研究・卒業制作Ⅱ（造園緑化コース）	相田	

必修	420
選択	90



科目名	卒業研究・卒業制作Ⅱ (花き生産コース)	履修区分	必修	授業形態	演習
年次	2年	開講時期	後学期	時間数	270
担当教員	白田浩通、井上守、前田宝秀				

## 〔背景と目的〕

「卒業研究・卒業制作Ⅰ」の結果を踏まえ、卒業報告書作成に向けた調査・研究に取り組む。PDCA サイクルを活用し、課題解決能力の向上を図る。

## 〔到達目標〕

- ・課題解決力が身につく。
- ・PDCA サイクルを理解する。

## 〔授業内容〕

## ・個別課題研究

生産・流通現場における課題の発見、課題解決に向けた試験計画の作成、試験の実行、試験結果の評価、試験計画の再構築を通じて、課題解決能力を身に付ける。令和3年度は、企業と連携した研究に特に注力した。令和3年度の研究テーマは次の通り。

## 『ハロウィンカボチャあんどん仕立ての生産とその販売』（連携企業：小関園芸、山下園芸）

現場での課題：ハロウィンカボチャの形が細長くなってしまった。

解決方法：あんどん仕立て栽培をすることで、形の良いカボチャが生産可能。



通常栽培の細長いカボチャ



あんどん仕立てによるカボチャ

## 『苗物生産現場における課題解決（サルビア生育不良の問題解決方法の検討）』（連携企業：株式会社堀部）

現場での課題：ポット上げ後にサルビア苗が枯死してしまう。

解決方法：セルトレイでの育苗期間を長くすることで枯死を回避可能。



培養土の化学性調査



生育試験



『苗物生産現場における課題解決 (生分解性ポットを用いた苗物の栽培)』(連携企業:株式会社東海化成)

現場での課題: 生分解性ポットの普及を図りたい。

解決方法: 生分解性ポットで生産した苗の品質・ポットの分解速度の評価



ポット工場の見学



生分解性ポットの分解速度調査

『珪藻土ウレタンの園芸業界での利用に向けて』(連携企業:ニッポー工業株式会社、オグリ)

現場での課題: 吸水性に優れた珪藻土ウレタンを園芸業界で活用できないか?

解決方法: 播種培養土の代替としての利用に向けた苗物栽培試験



企業による珪藻土ウレタンの解説



珪藻土ウレタンを用いた育苗試験

『切花フランネルフラワーの栽培実証と消費拡大に向けた情報発信』(連携団体:ぎふフラワー研究会)

現場での課題: 大都市圏のブライダル需要に加えて、一般小売での消費を拡大したい。

解決方法: 気軽に楽しむ方法を SNS で発信し知名度を高める。



レジンピアスの YouTube 動画



フラワーボトルの YouTube 動画



科目名	フラワーデザイン実習Ⅱ	履修区分	選択	授業形態	実習
年次	1年	開講時期	後学期	時間数	60
担当教員	○林 誠☆、吉田 久美子☆、中西 裕子☆（非常勤講師）、國井 理佐☆（非常勤講師）				

〔背景と目的〕

フローリストの仕事の中で、季節や行事、イベントに関連する仕事の割合は年々増加している。本科目では、様々な季節や行事、イベントに特化した作品（商品）づくりに取り組むことにより、フローリストとして、クライアントの要望に応えられる知識や技術の引き出しを増やす事を目的とする。

〔到達目標〕

- ・季節の商品が制作できる。
- ・花に関わる季節行事を知る。
- ・自ら花材を選びイメージを形にできる。

〔授業内容〕

授業計画				
実習・演習の進め方		デモンストレーションを参考に作品を制作する。 デザイン・コンセプトを自ら考え作品を制作する。		
回	時間数	項目	授業内容	担当教員
1	4	ウェディング装花①	ヘアオーナメント	國井
2	4	季節の商品ハロウィン	グルーピングテクニック・ハロウィンアレンジメント	林
3	4	鉢のラッピングと寄せ鉢	ポット鉢の組み合わせ・ラッピング	吉田
4	4	プリザーブドフラワーとドライフラワーの応用	パウダーフォーム・ハーバリウム	中西
5	4	季節の商品・クリスマス①	テーブルコーディネート・クリスマスのアレンジメント	中西
6	4	季節の商品・クリスマス②	花に関わる季節行事・スワッグ	林
7	4	季節の商品・クリスマス③	クリスマスリース	林
8	4	季節の商品・正月	しめ縄・正月のアレンジメント(グロースオブハビット)	吉田・林
9	4	アレンジメントの応用①	異なる素材の組み合わせ・BOXアレンジメント	林
10	4	アレンジメントの応用②	クレセント・ホガース	林
11	4	花束の応用	スパイラルテクニック(一方見・四方見)	林
12	4	ウェディング装花②	キャスケードブーケ	林
13	4	ウェディング装花③	クレセントブーケ	國井
14	4	プリザーブドコサージュ	卒業式に向けたプリザーブドコサージュ制作	林・吉田
15	4	試験・実技	花束・アレンジメント制作(テーマに基づき各自花材調達)	林





ヘアオーナメント制作



ハーバリウム制作



リース制作



Xmasアレンジメント制作



スワッグ制作



お飾り制作



BOXアレンジメント制作



クレセントブーケ制作



キャスケードブーケ制作



科目名	造園施工・管理実習Ⅱ	履修区分	選択	授業形態	実習
年次	1年	開講時期	後学期	時間数	60
担当教員	新井俊宏、佐竹康太郎（非常勤講師）、上田善弘（客員教授）				

〔背景と目的〕

「造園施工・管理実習Ⅰ」に引き続き、潤いとやすらぎのある造園空間を創造するための基礎的な知識、技術、センスの習得を目指す。

施工実習および管理実習ともに「造園施工・管理実習Ⅰ」同様、自然材料や加工材料を用いた造園施設の制作、学内庭園や植物について時期や生育特性に合わせた管理方法、樹木病虫害の防除方法などについて学ぶ。

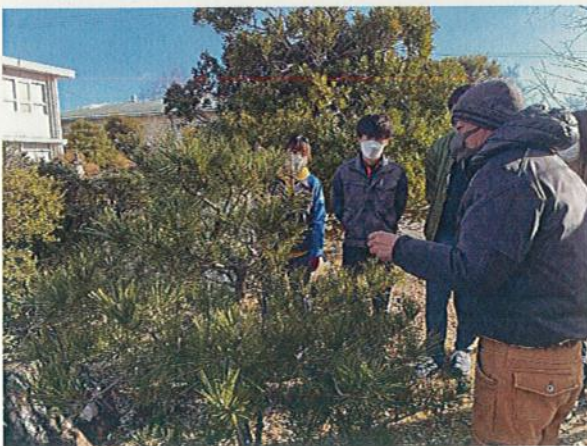
〔到達目標〕

- ・造園植物（樹木、下草、芝生など）の生育特性を踏まえた管理方法を習得する。
- ・造園施設（景石、延べ段など）の施工方法を習得する。
- ・造園空間の様式や構成を理解する。

〔授業内容〕



学内庭園の管理と植栽 これまで卒業研究・卒業制作などで制作した造園空間の管理と植栽。



常緑樹（マツ）の管理 マツの葉むしり（もみあげ）。春の新芽を取るみどり摘みに対して、秋から冬におこなう。  
非常勤講師の佐竹康太郎さんによる指導。

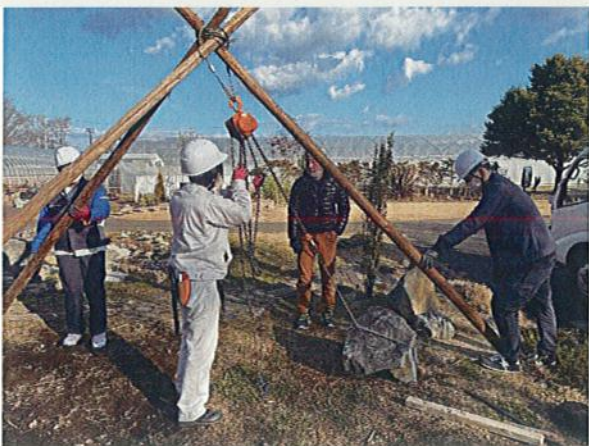




バラの冬季剪定 学内の木立ち性とする性バラの剪定。客員教授の上田善弘さんによる指導。



樹木の移植（高木） 根巻きの様子。ドーナツ状に垂直に掘り下げた後、鉢に麻布を巻き、麻紐を叩き締める（かがり）。



チェンブロックによる景石の据え付け チェンブロックと三又（さんまた）による石の吊り上げ。移動式クレーンが入ることができない造園空間（例えば茶庭）で利用されることが多い。非常勤講師の佐竹康太郎さんによる指導。



科目名	基礎会計	履修区分	選択	授業形態	講義
年次	1年	開講時期	後学期	時間数	30
担当教官	佐藤智茂				

【背景と目的】

- 会計の知識は、現代の働く人にとって必須のツール、リテラシーとなっている。
  - 「会計の知識はビジネスパーソンに必須のツールとなっています。数字がわかるとわからないでは働き方に大きな差がでます。」（\*日本経済新聞記事『会計の基礎知識』より抜粋）

【到達目標】

- 決算書（貸借対照表、損益計算書）の基本を理解
  - ◇ 決算書の構造と、ビジネス活動（資金調達→事業投資→付加価値）との繋がりを学習
- 決算書を作成するための基本的な体系（会计学）と簿記（仕訳→転記→試算表作成→決算整理→精算表）の基本を理解
  - ◇ 市販テキスト『合格テキスト日商簿記3級』を使用

【講義概要】



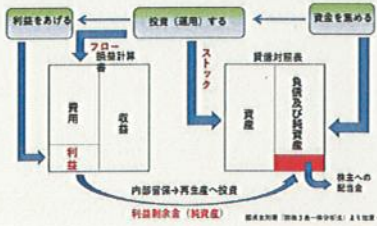
会社とは何か？



第2～3回講義で使用したスライドの一部、株式会社の基本的な成り立ちをイラストを交え概説します



ビジネスの大きな流れを  
B/S・P/Lへ当てはめてみると



第2～3回講義で使用したスライドの一部、事業活動と財務諸表との関連を学びます。



第5回以降の講義は当テキストとスライドを用いて簿記の基本知識を学びます

以下、『売上原価』の説明に用いたスライド資料

売上原価 (P152～156)

基本的な考え方として

- 費用収益対応原則
  - > 「一定期間（事業年度）の収益と費用を対応させ、正確な損益を計算する」という考え方
    - ✓ 個別対応（棚卸資産）
    - ✓ 期間対応（販売管理費用）
- 売上原価（販売した商品の原価）の計算
  - > **売上原価 = 期首在庫額 + 期中仕入額 - 期末在庫額**
    - 前期末の商品売れ残り 今期の商品購入額 今期末の商品売れ残り
- 売上総利益（粗利益）の計算
  - > **売上総利益（粗利） = 売上高 - 売上原価**



- ① 今期に売れたリンゴの数はいくつ？ A: 2個 + 5個 - 1個 = 6個
- ② 今期のリンゴの売上高はいくら？ A: 6個 × 120円 = 720円
- ③ 売れたリンゴの売上原価はいくら？ A: 200円 + 500円 - 100円 = 600円
- ④ 売れたリンゴの売上総利益（粗利）はいくら？ A: 720円 - 600円 = 120円

基本的な考え方として

基本例題33 (P156)



- ① 今期に売れたリンゴの数はいくつ？ A: 0個 + 5個 - 2個 = 3個
- ② 今期のリンゴの売上高はいくら？ A: 3個 × 120円 = 360円
- ③ 売れたリンゴの売上原価はいくら？ A: 0円 + 500円 - 200円 = 300円
- ④ 売れたリンゴの売上総利益（粗利）はいくら？ A: 360円 - 300円 = 60円

繰越商品（資産）		売上（収益）	
前繰 200	仕入 200		売掛金 2,000
借入 360			
仕入（費用）		売上原価は900円（仕入勘定残高）となる	
現金 1,000	繰越 300	* 期末商品棚卸高（期末在庫）は300円	
繰高 200			

(仕入) 200 (繰越商品) 200  
(繰越商品) 300 (仕入) 300



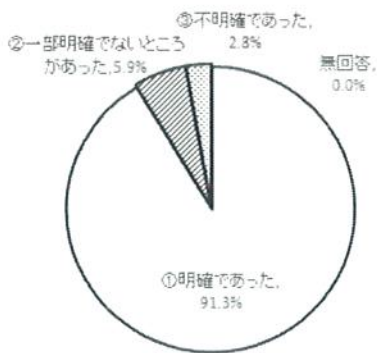
## 授業評価アンケート結果 (令和3年度)

&lt;令和3年度後期 マイスター科1年生&gt;

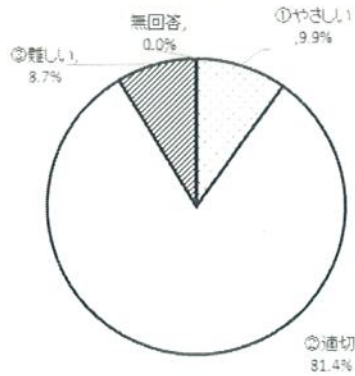
番号	科目名	分野	履修区分	受講者数	難易度			教科書や資料の理解			質問や相談		知識や技術の習得		授業満足度			
					やさしい	適切	難しい	理解できた	一部理解できなかった	理解できなかった	配慮していた	配慮していなかった	できた	できなかった	非常に満足	満足	やや不満足	不満足
14	花き生産流通実習Ⅱ	生産流通	必修	21	15.0%	85.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
15	生産プロジェクト実習Ⅰ	生産流通	選択	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16	園芸装飾実習Ⅱ	装飾	選択	18	11.8%	82.4%	5.9%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	76.5%	23.5%	0.0%	0.0%
17	フラワーデザイン実習Ⅱ	装飾	選択	11	0.0%	90.0%	10.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
18	花修景実習Ⅱ	造園緑化	必修	22	14.3%	85.7%	0.0%	90.5%	9.5%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
19	造園施工・管理実習Ⅱ	造園緑化	選択	9	0.0%	87.5%	12.5%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	87.5%	12.5%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
20	測量・製図実習	造園緑化	選択	7	66.7%	33.3%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	83.3%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%
21	CAD製図実習	造園緑化	選択	7	33.3%	50.0%	16.7%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%
22	商品動向リサーチⅠ	マーケティング	必修	21	5.0%	85.0%	10.0%	95.0%	5.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	85.0%	10.0%	5.0%	0.0%
23	キャリアデザインⅠ	マネジメント	必修	21	10.0%	75.0%	15.0%	70.0%	20.0%	5.0%	100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	45.0%	40.0%	0.0%	15.0%
24	基礎会計	マネジメント	選択	12	9.1%	54.5%	36.4%	63.6%	36.4%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%
25	伝統園芸実習	文化利用	選択	18	5.9%	88.2%	5.9%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%
26	園芸福祉論・実習	文化利用	選択	15	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
27	園芸色彩学	文化利用	選択	20	10.5%	84.2%	5.3%	94.7%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
28	植物管理基礎実習Ⅱ	植物管理	必修	21	15.0%	85.0%	0.0%	95.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	95.0%	5.0%	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%
29	Global Communication in HorticultureⅡ	国際性	必修	19	5.3%	63.2%	31.6%	84.2%	15.8%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	26.3%	68.4%	5.3%	0.0%
30	インターンシップⅠ	就業体験	必修	21	0.0%	95.0%	5.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
1年全体				268	9.9%	81.4%	8.7%	92.1%	6.7%	0.4%	100.0%	0.0%	97.2%	2.8%	64.4%	31.2%	2.4%	2.0%

< 1年全体 >

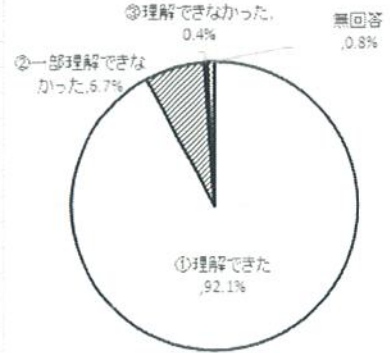
Q1:授業のテーマ



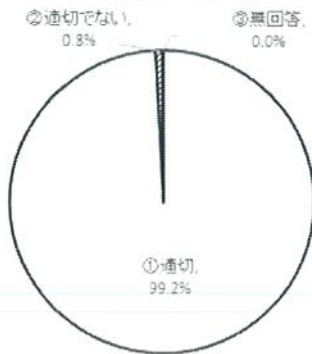
Q2:授業の難易度



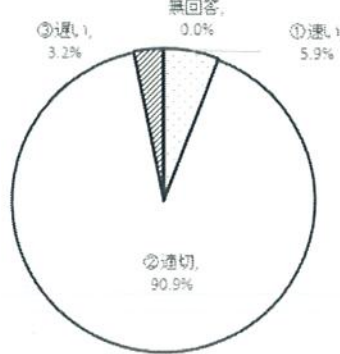
Q3:教科書・資料のわかりやすさ



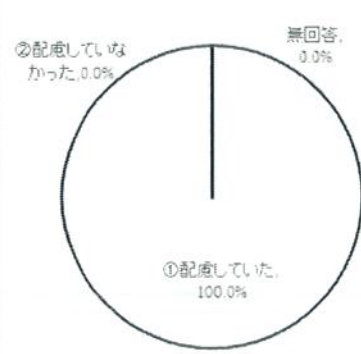
Q4:教員の話し方



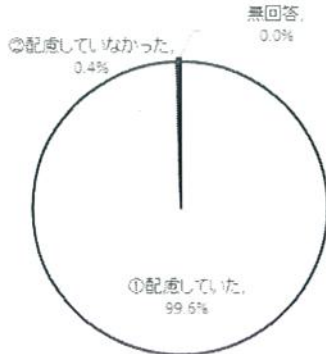
Q5:授業の進め方



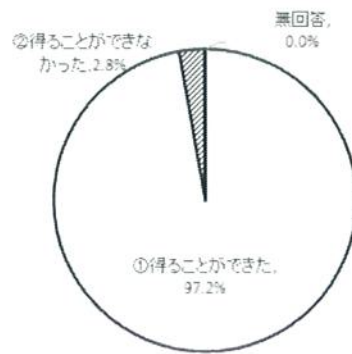
Q6:質問や相談への配慮



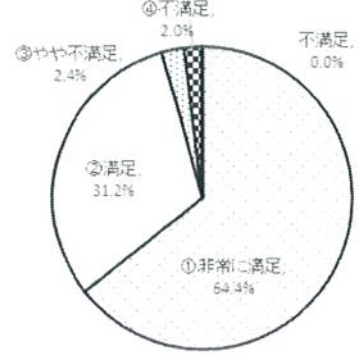
Q7:学生の体調管理への配慮



Q8:知識・技術の習得



Q9:授業への満足度



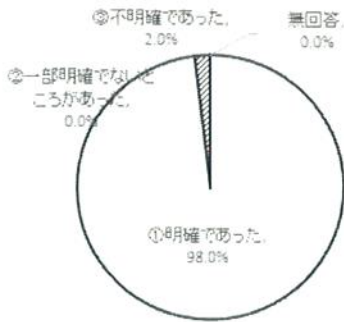


<令和3年度後期 マイスター科2年生>

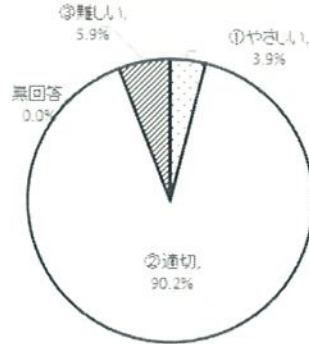
番号	科目名	分野	履修区分	受講者数	難易度			教科書や資料の理解			質問や相談		知識や技術の習得		授業満足度			
					この授業の内容は、あなたにとってどのくらいの難易度でしたか。			教科書、配布資料、パワーポイントなどは理解できるものでしたか。			教員は質問や相談ができるように配慮していましたか。		あなたは、この授業を通して新しい知識や技術等得ることができましたか。		あなたは、この授業に満足しましたか。			
					やさしい	適切	難しい	理解できた	一部理解できなかった	理解できなかった	配慮していた	配慮していなかった	できた	できなかった	非常に満足	満足	やや不満足	不満足
19	造園工学・施工論	造園緑化	選択	6	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
20	公園・緑化概論	造園緑化	選択	9	0.0%	100.0%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
21	SNSプロモーション	マーケティング	選択	6	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
22	職場体験実習Ⅲ	職業体験	必修	15	6.7%	86.7%	6.7%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	46.7%	46.7%	6.7%	0.0%
23	卒業研究・卒業制作Ⅱ(花と生産コース)	課題解決	必修	4	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
24	卒業研究・卒業制作Ⅱ(花と観賞コース)	課題解決	必修	4	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
25	卒業制作・卒業研究Ⅱ(造園緑化コース)	課題解決	必修	7	0.0%	85.7%	14.3%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
2年全体				51	3.9%	90.2%	5.9%	98.0%	2.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	51.0%	45.1%	3.9%	0.0%

< 2年全体 >

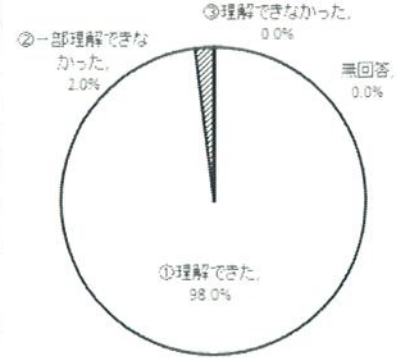
Q1: 授業のテーマ



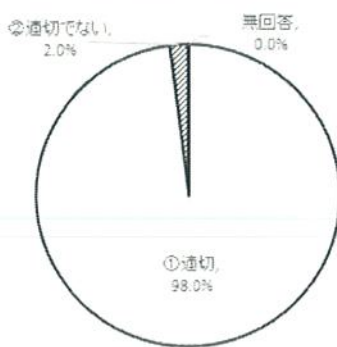
Q2: 授業の難易度



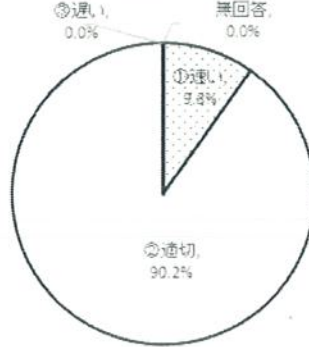
Q3: 教科書・資料のわかりやすさ



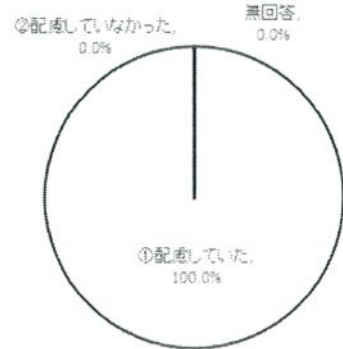
Q4: 教員の話し方



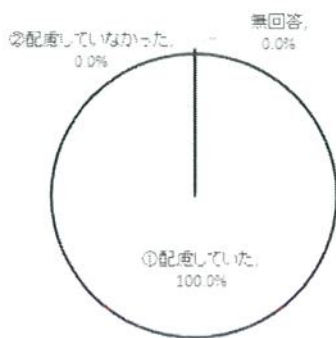
Q5: 授業の進め方



Q6: 質問や相談への配慮



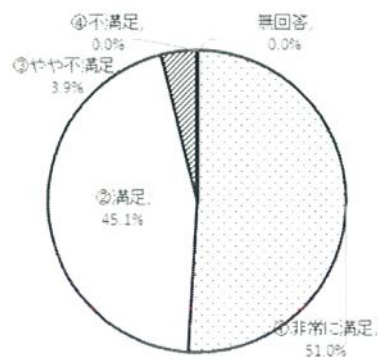
Q7: 学生の体調管理への配慮



Q8: 知識・技術の習得



Q9: 授業への満足度





## 国際園芸アカデミーの教育環境整備について

### 1 経緯

国際園芸アカデミー有識者会議（令和2年度）

経営感覚に優れた人材育成を行うため、ぎふワールド・ローズガーデン(WRG)をアカデミーの実践教育のフィールドとして有効に活用し、サテライト機能を有する施設等を整備し、実践的な教育を行うことを提言

<提言のあった施設整備> ①学生の作品の展示・販売ができる直売所・交流施設の整備

②実習フィールドに付帯する座学が行える実習棟の整備

年度	R 3	R 4	R 5	R 6
内容	基本構想作成	実施設計	施設工事・機器導入	供用開始
<施設整備方針> ①展示・販売スペース ⇒ 花トピア本館1階に整備 ②更衣室・シャワー室、研修室の ICT 機器 ⇒ 花トピア本館1階に更衣室・シャワー室を新設 ⇒ 花トピア本館2階の研修室に ICT 機器等を整備				

### 2 国際園芸アカデミーでの取り組み

- ・ WRGで実施する実習と座学との連携や販売展示実習、生涯学習等、カリキュラムの検討
- ・ 展示・販売及び座学に必要な備品やICT機器等の精査

年度	R 4	R 5	R 6
内容	WRGで実施する授業の提案・検討  展示・販売に必要な備品、座学に必要なICT機器等の精査 (予算要求)	新カリキュラムの検討  備品及びICT機器等の設置	WRG (花トピア) において新カリキュラムでの授業及び展示・販売の開始



## 令和3年度 インターンシップ受入企業の意見

業界が求める人材・能力・資格	学校への意見・要望
<p><b>1 &lt;業界が求める人材&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まじめで、しっかりあいさつができる人。すみません、ごめんなさい、ありがとうございますと言える人。</li> <li>・幅広い人脈や知識を有し、柔軟な発想で物事にあたれる人材</li> <li>・協調性、思いやり。人とコミュニケーションがとれる方</li> <li>・実践力とスピード(ゆっくり人材を育てる仕組みが整っていない)</li> <li>・先々の事を考え行動ができる人</li> <li>・そうじ、片づけができる人</li> <li>・コロナ禍で大きな打撃を受け、働き方も大きく変わりました。この変化に対応できる人材が今求められている人材。</li> </ul> <p><b>2 &lt;技術的能力&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約30kgの物を持つくらいの筋力(体力)</li> <li>・単調な作業でも長く続けられる集中力</li> <li>・生産段階においての商品の良し悪しがわかる、花き流通における輸送方法や荷扱いの方法、自分で興味を持った品物については、生産地や栽培方法、管理方法を調べ、自分でも自宅で飾る事により、買受人と生産者の架け橋になれる。</li> <li>・花束やリボン、アレンジメント等制作できる(時間も考慮できる)</li> <li>・人を束ねた経験(部活動やクラブの部長やキャプテン、イベント幹事等)</li> <li>・自然共生の視点(生物多様性の知識や興味)</li> <li>・剪定などの維持管理をしていくのでその上での技能</li> <li>・造園工事で石材をすえたり各種機械を使用できる</li> <li>・文化財庭園についての知識(名勝、特別名勝庭園の名前、意味、指定の理由や現在の保存方法等)</li> <li>・イメージを具現化できる力(CADソフト使用)</li> <li>・設計エンジニアとしてCAD設計、構造計算、積算等の工学的な仕事が多く、数学的作業ができる力</li> <li>・最低でもExcel、Word、PowerPointが使える</li> <li>・イラストレーターやフォトショップなどのソフトウェアが扱える</li> <li>・SNS、パソコン、アプリなどを使ってITでの接客、販促ができる</li> <li>・英語が出来たらなお良い。</li> </ul> <p><b>3 &lt;資格&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車免許(マニュアル免許)【共通】できれば中型免許【造園】</li> <li>・フォークリフト【生産/大型園芸店】、ショベルローダー【生産】、大型特殊【大型園芸店】</li> <li>・フラワー装飾技能士2級程度。生け花【装飾】</li> <li>・毒物劇物取扱者【大型園芸店】</li> <li>・重機や移動式クレーン、玉掛け、刈払い、伐採などの資格【造園】</li> <li>・ユンボ、高所作業車【公園】</li> <li>・2級造園施工管理技士、2級造園技能士、公園管理運営士、技術士(都市及び地方計画)【造園/公園】</li> <li>・測量士、シビルコンサルティングマネージャー(RCCM)、エクステリアプランナー【造園】</li> <li>・樹木医、プロジェクトワイルド、グリーンアドバイザー、園芸福祉士【公園】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生さんがインターンシップで何を学びたいのかが少し分かりづらく感じた。事前に学生が何をしたいのか、将来どんな仕事をしたいのか伝えてもらった方が、色々な体験ができると思います。</li> <li>・新しい人材の確保と育成は、業界の大きな課題。インターンや見学等を通じて人材確保に協力いただきたいとともに、優秀な人材育成に一層尽力していただきたい。</li> <li>・「社会人として正しい距離の置き方、上下関係の秩序」は必要だと思っております。教育現場から秩序、先生と生徒のお立場から、より実践頂けると大変助かります。</li> <li>・花のアピール、花育活動を業界で考えて行動していかないといいけないと思います。また学校として、花業界のどの分野が安定しているか、良い状態かを学生へ伝えてあげる事が大事だと思えます。</li> <li>・店舗で働く時の接客マナーやラッピング、レジなどについても学んでいけたらと思います。</li> <li>・アーティフィシャルフラワーでの需要が多いため、それらのレッスンとかもあるとよいのでは。</li> <li>・SNS、パソコン、アプリなどを使っていかないともう生き残れない。ITでの接客、販促方法を教えてあげて欲しいと思えます。</li> <li>・インターンシップは就職前に実際の仕事が体験でき、自分のイメージと比べる事ができ進路を判断するのに良いと思います。引き続き継続されると良いと思います</li> <li>・建設関連業界は慢性的な人手不足です。自分のアイデアや思いが実際に形として残り、多くの市民、国民の暮らしや営みを支える建設業の魅力を、ぜひ多くの生徒の皆さんに伝えて頂きたいと思えます。</li> <li>・今は造園の仕事の中でもやはり外構・エクステリアの占める割合が圧倒的に多くなっており、エクステリアCADのリックCADの導入と実践をしていただければと思います。エクステリアプランナーの資格取得も合わせて授業の中で取り入れてもらえれば、必ず実社会でも役立つと思えます。</li> <li>・色々な事に挑戦できる環境作りが学校の役割であれば良いと思います。また優秀な生徒を育てる為に高校とは違う、“自主性・主体性”と“自分で考える力”を重きに置いてカリキュラムを組まれると良いのではと思います。</li> <li>・現場での作業としてのスキル(安全衛生教育・特別教育等々)を多く取得していくと良いと思います。また、取得するのみではなく、活用できるように育成していくと良いです。</li> <li>・公園管理を目指す人材を育てるのであれば、将来「公園管理運営士」の資格取得のために、公園ガイドブック(一般財団法人公園財団)の項目をいち早く(学生のうちに)教授していくとより高い技能と知識を持った人材になると思えます。</li> </ul>

## 業界の動向及び求める人材について

### 資料7

内山友樹 委員

#### 1 現在の業界の情勢と今後の方向性

まずフラワーデザイン界では、対面の講習がしづらい状況が続き、各スクールにおいては、長期に休みを取り、そのまま自然消滅となる生徒さんも少なくない聞いております。

リモートには置き換えられない、対面での実習が必要と考えますが、そういう考えすらすでに古いのかもしれませんが。

花店においては、市場で感じるのですが、仕入れのため集まる花店の車の車種が、軽自動車の割合が増えている印象で、仕事自体が小規模になってきている表れかと思われれます。

母の日も以前のように徹夜で準備される花店も少なくなっており、花以外のギフトの需要が増えてきているようです。

ウェディングは、最近のコロナの第7波以前まではそこそこ盛り返し、披露宴も行われ始めておりました。

行動制限がされなければ、この状態が続くと思われれます。

ブライダルにおいては、近年特に若返りを感じ、式場側の対応する担当が若く、花の相談も、若い世代の好みで進められているようです。

それにより、フラワーデザインで必要な技術も変化しており、ワイヤリング・テーピングの技術が活用される場面が少なくなっています。

とはいえ、ヘアオーナメント、ブートニア（卒業式などのコサージュ）では依然それらの技術が必要です。

メインテーブルはじめ、会場装飾のテイストも変化しており、花のセンス・技術だけでなく、トータルのコーディネートセンスも求められています。

2軒以上の花店が関わる式場では、センスに加え、プレゼン力も求められます。

葬儀はコロナにより、小規模が普通になりました。

何年か前からですが、お寺、自宅での葬儀はほぼなくなっています。

町中に増えた葬儀会場ですが、家族葬が主流になり、祭壇というよりアレンジを置いた棚というレベルの葬儀も増えています。

家族葬用に改築したり、会場を貸し出すこともしているようです。

ただ、葬儀は小規模でも、後に「お別れの会」を催す場合も増えており、これにより葬儀場以外で祭壇を飾る機会も増えています。

祭壇自体のデザインも、以前の直線で平面的なものでなく、曲線を多用したり、粗密感でリズムをとるようなデザインが多く見られ、専用の土台はあるものの、以前より花のコントロールが求められると思います。



## 2 業界の求める人材

「即戦力」となる人材が求められるのだと思いますが、実際花店ごと、式場ごとで、独自の方法を持っています。

そして総じて花店の人は教えることが上手ではないです。

リボンボウの作り方だけでも3種類ほどあり、そのボウをどんな素材で留めるのかもお店によって様々です。

メインテーブルの作り方、挿す順番なども式場、花店によって違うと思います。

ただどう違っていても、基本は同じですし、基本の正しい知識、技術を持ち、その上で、臨機応変にどこの現場でも対応でき、合わせられる人材ということでしょうか。

2年間という限られた期間で、すべてを網羅することは不可能ですし、学生の素質も様々です。

ウェディングにも大きくかかわる花店、特に店主が若い年代の場合、技術より感性が先行しているように見受けられます。

むしろ技術はあるのかと疑問視したくなるような花店もあります。

しかし人気があり、繁盛していることも事実です。

基本の技術は必要ないのかとってしまうこともあります。

だからこそ現在花業界現場で働かれている多くの人々を見て思うことですが、

せっかく学校という場で学ぶのだから、正しい知識、正しい基本技術の習得の重要性です。

基本を正しく知り、その上で現場に合わせることができるよう考えることだと思います。

成果発表会などでも、自分で考え、イメージして作品に至る練習は、とても重要だと感じました。

自ら考えを発展させ、作品化することはかなり高度なことで、その考えを発表という形で人に伝える経験もできる事は素晴らしく、担当教員だけでなく、校長はじめ多くの先生方からも意見が頂ける今の形式は完成度が高く感じます。